

I 事業報告

1. 総会・理事会

(1) 第25回定時総会

- ・日 時 平成27年5月18日(月) 13:30~14:30
- ・場 所 ホテル アジュール竹芝 東京都港区海岸
- ・議決事項

第1号議案 平成26年度事業報告及び決算報告に関する件
第2号議案 当局への要望に関する件
第3号議案 役員を選任に関する件
報告事項

(2) 第56回理事会

- ・日 時 : 平成27年4月28日(火) 12:30~14:30
- ・場 所 : ホテル アジュール竹芝 東京都港区海岸
- ・議決事項

第1号議案 平成26年度事業報告及び決算報告に関する件
第2号議案 当局への要望に関する件
第3号議案 役員を選任に関する件
第4号議案 会員の入会に関する件
第5号議案 ウォーターフロント振興支援事業実施要領改定に関する件
第6号議案 「みなとまちづくりマイスター」認定実施要領改訂に関する件

(3) 第57回理事会

- ・日 時 : 平成27年5月18日(月)14:35~14:50
- ・場 所 : ホテル アジュール竹芝 東京都港区海岸
- ・議決事項

第1号議案 会長の選任に関する件
第2号議案 顧問の選任に関する件

(4) 第58回理事会

- ・日 時 : 平成28年3月3日(木)12:00~14:30
- ・場 所 : ホテル アジュール竹芝 東京都港区海岸
- ・議決事項

第1号議案 平成28年度事業計画及び収支予算に関する件
第2号議案 会員の入会に関する件
第3号議案 定時総会開催に関する件

- 第4号議案 ウォーターフロント振興支援事業実施要領改定に関する件
- 第5号議案 みなとまちづくりマイスター派遣支援事業新設に関する件
- 第6号議案 みなとまちづくりマイスター認定実施要領改定に関する件

(5) 顧問会議

- ・日 時：平成28年3月23日（火）12:00～14:00
- ・場 所：世界貿易センタービル 38F Wave 東京都港区浜松町
- ・出席者：川崎 裕康 元会長
 川島 毅 元会長
 大谷 鮎子 NPO 法人九州キラキラみなとネットワーク 理事長
 鬼頭 平三 前会長
 水谷 誠 国土交通省港湾局 産業港湾課長
 佐々木 宏 国土交通省港湾局 海洋・環境課長
 浅輪 宇充 国土交通省港湾局 技術企画課長
 泉 信也 元顧問（元国務大臣）
 青木 義典 前専務理事
 金澤 寛 会長
 橋間 元徳 専務理事
 平尾 壽雄 参与
 藤川 洋子 総務課長
- ・協会活動報告
 - I 総会・理事会について
 - II 平成27年度活動報告、決算見込みについて
 - III 平成28年度事業計画及び収支予算について
- ・意見交換

2. ウォーターフロント開発・振興支援事業（公益目的事業）

(1) ウォーターフロント振興支援（助成）事業の実施

1) ウォーターフロント振興支援事業成果報告会の実施

- ・日 時：平成27年5月19日（火） 10:00～12:00

- ・場 所：ホテルアジュール竹芝 12F 白鳳の間 東京都港区海岸

平成26年度に実施されたウォーターフロント振興支援事業5港5事業の報告がなされ意見交換がおこなわれた。また、ウォーターフロント振興支援事業選定委員長の講評をもらった。

①紋別市市制施行60周年記念ウォーターフロントフェスティバル海洋コンサート

紋別市

- ②酒田湊おもてなし市 酒田市
- ③後継者育成支援を目的とするウミホテル観察会の開催 館山市
- ④敦賀みなとフェア2014～港とフェリーにふれあおう～ 敦賀市
- ⑤名古屋港開港祭 フレンドリーポート2014

公益財団法人名古屋みなと振興財団

2) 平成27年度は下記の事業について助成した。

《豊かなウォーターフロント形成支援事業》

- ①苫小牧港 ブラバンコンサート in 新・ご当地グルメグランプリ北海道
申請者 苫小牧港管理組合
- ②室蘭港 客船歓迎と複合した、みなとオアシスと道の駅が連携したPR活動
申請者 室蘭市
- ③神戸港 シンポジウム「海に開く～阪神淡路大震災20周年を省みて
～災害時の船舶利用とクルーズ母港への期待」
申請者 一般社団法人神戸港振興協会

以上、平成27年1月30日開催ウォーターフロント振興支援事業選定委員会にて決定

- ④渋川海岸 おかやまビーチフェスティバル2015(※)
申請者 おかやまビーチスポーツ協会

(※) 平成27年6月8日開催ウォーターフロント振興支援事業選定委員会にて決定
ウォーターフロント振興支援事業選定委員会が開催された。

- ・日時：平成27年6月8日(月) 18:00～19:00
- ・場所：一般社団法人ウォーターフロント協会 東京都港区芝浦
- ・委員：佐藤 成美 五洋建設株式会社 横浜営業支店 顧問(委員長)
佐藤 浩孝 株式会社NIPPO 執行役員
高田 昌行 国土交通省 港湾局 産業港湾課長
(代理出席 林 健太郎 港湾局 産業港湾課 クルーズ振興官)
原 重一 原重一観光研究所 主宰
廻 洋子 淑徳大学 経営学部 学部長教授
横内 憲久 日本大学 理工学部まちづくり工学科 学科長教授

(2) 「みなとオアシス全国協議会」の運営

- 1) 総会 平成27年9月18日(金) 15:30～16:00
浄土ヶ浜パークホテル「鳳松」 岩手県宮古市
- 2) 理事会 平成27年9月18日(金) 14:00～14:30
浄土ヶ浜パークホテル「松濤の間」 岩手県宮古市
- 3) その他 ・メールマガジン「みなとオアシス便り」を毎月1回配信

(3) 「みなとオアシス Sea 級グルメ」及び「港弁」の振興支援

1) みなとオアシス Sea 級グルメ全国大会の開催

第6回みなとオアシス Sea 級グルメ全国大会 in 宮古

- ・日 程：27年9月19日（土）～20日（日）
- ・場 所：みなとオアシスみやこ シートピアなあと 岩手県宮古市
15 オアシスが出店。応援参加として平内町が出店。

第7回みなとオアシス Sea 級グルメ全国大会 in とば

- ・日 程：27年10月31日（土）～11月1日（日）
- ・場 所：みなとオアシスとば 三重県鳥羽市
16 オアシスが出店。応援参加としてみなとオアシス苫小牧とみなとオアシス大分かんたん港園が出店。

2) 港弁の展開

平成27年11月6日付で下記1件を認定した。

認定番号第1501号「秋の彩りほっき弁当」 みなとオアシス苫小牧

(4) 「みなとの博物館ネットワーク・フォーラム」の運営

1) 総会 平成27年6月19日（金）14：00～14：40

名古屋港ポートビル2階 C会議室

2) 拡大役員会 平成28年2月16日（火）13：30～15：30

世界貿易センタービル38階 Wave

3) 企画委員会

第1回 平成27年6月30日（水）一般社団法人ウォーターフロント協会

第2回 平成27年10月16日（金）横浜みなと博物館 日本丸訓練センター

第3回 平成28年3月18日（金）一般社団法人ウォーターフロント協会

4) 創立10周年記念事業

記念誌「みなとの博物館ネットワーク・フォーラム10年のあゆみ」発行

平成28年2月発行。会員及び関係各所に配布した。

5) 主な事業

- ・会報 No. 11 発行
- ・メールマガジン「みなとの博物館情報」を平成22年9月より毎月1回配信
- ・助成事業
平成27年12月22日（火）に開催された助成事業審査委員会において
平成28年度の助成館8館と助成金額を決定
- ・スキルアップ交流会
平成27年12月10日（木）～11日（金）長崎歴史文化博物館等にて実施。

6) その他

- ・会員証の発行
- ・「新着資料紹介」をホームページとメールマガジンに掲載。

(5) 国への要望

国土交通省に対し要望活動を行った。

第1回：平成27年9月15日

- ・要望先：国土交通省港湾局 菊地 身智雄 港湾局長
水谷 誠 産業港湾課長
小谷野 喜二 海洋・環境課長

・要望内容：

みなとまちづくりに関する活動への積極的な指導及び支援
「みなとオアシス」の活動への積極的な指導及び支援
ウォーターフロントの災害対策及び被災地の復旧・復興に係る支援
みなとの博物館ネットワーク・フォーラムの活動に対する支援

第2回：平成27年11月11日

- ・要望先：国土交通省港湾局 下司 弘之 大臣官房技術参事官
浅輪 宇充 技術企画課長

・要望内容：

「汚濁防止膜再利用カーテン引張強度評価制度」の活用についての指導及び支援

3. ウォーターフロント啓発普及事業（公益目的事業）

(1) 「みなとまちづくりマイスター」の認定

1) 平成27年度『みなとまちづくりマイスター』の認定

平成27年「海の日」付けで次の9名を認定した。

- | | | |
|--------------|--------------------|-----------------|
| 折谷 久美子（函館港） | みなとまちづくり女性ネットワーク函館 | 代表 |
| 島 康子（大間港） | 津軽海峡マグロ女子会 | 青森側とりまとめ役 |
| * 石井 洋司（新潟港） | NPO 法人新潟みなとクラブ | 理事長 |
| * 神谷 正巳（衣浦港） | 市民ボランティア団体 | 渡し場かもめ会 会長 |
| * 伊庭 節子（舞鶴港） | NPO 法人まいづるネットワークの会 | 理事長 |
| 山田 義彦（境港） | 境港ボート協会 | 会長 |
| 三宅 定子（宇野港） | うの港13 | 代表 |
| * 小川 和子（三原港） | NPO 法人 | みはらまちづくり兎っ兎 理事長 |
| * 脇本 茂紀（忠海港） | みなとオアシスただのうみ協議会 | 副会長 |
- （* 本年度新規認定者）

※今回の認定により、全国の『みなとまちづくりマイスター』は総計44名となった。

なお、今年新たに認定された『みなとまちづくりマイスター』は、8月4日、国土交通省港湾局長賞を授与された。

認定に先立ち『みなとまちづくりマイスター』選定委員会が開催された。

- ・日 時： 平成 27 年 6 月 8 日（月） 17：00～18：00
- ・場 所： 一般社団法人ウォーターフロント協会 東京都港区芝浦
- ・委 員： (五十音順、敬称略)
 - 佐藤 成美 五洋建設株式会社 横浜営業支店 顧問
 - 佐藤 浩孝 株式会社 NIPPO 執行役員
 - 高田 昌行 国土交通省 港湾局 産業港湾課長
(代理出席 林健太郎 港湾局 産業港湾課 クルーズ振興官)
 - 原 重一 原重一観光研究所 主宰
 - 廻 洋子 淑徳大学 経営学部 学部長教授
 - 横内 憲久 日本大学理工学部まちづくり工学科 学科長教授 (委員長)

2) 『みなとまちづくりマイスター』認定記念シンポジウム

これまでに認定された『みなとまちづくりマイスター』の相互交流・意見交換・情報発信のため、全国交流会を行った。

- ・日 時： 平成 27 年 8 月 4 日(火) 16：00～17：50
- ・場 所： ホテルアジュール竹芝 14 階 天平の間 東京都港区海岸
- ・テーマ： 「これからのみなとまちづくり」

○パネリスト

- | | |
|--------------|------------------------|
| 大西 育子 (苫小牧港) | 女性みなと街づくり苫小牧 代表 |
| 石井 洋司 (新潟港) | NPO 法人新潟みなとクラブ 理事長 |
| 神谷 正巳 (衣浦港) | 市民ボランティア団体 渡し場かもめ会 会長 |
| 中川 庄嗣 (衣浦港) | 市民ボランティア団体 渡し場かもめ会 相談役 |
| 田村 伴次 (名古屋港) | NPO 法人伊勢湾フォーラム 相談役 |
| 伊庭 節子 (舞鶴港) | NPO 法人まいづるネットワークの会 理事長 |
| 三宅 定子 (宇野港) | うの港 13 代表 |
| 小川 和子 (三原港) | NPO 法人みはらまちづくり兎っ兎 理事長 |
| 脇本 茂紀 (忠海港) | みなとオアシスただのうみ協議会 副会長 |
| 谷本 訓男 (八幡浜港) | 八幡浜港みなとまちづくり協議会 会長 |

○コーディネーター

- 橋間 元徳 一般社団法人ウォーターフロント協会 専務理事

3) 北海道地区みなとまちづくりマイスター意見交換会

(NPO 法人北海道みなとの文化振興機構と共催)

- ・日 時： 平成 27 年 11 月 5 日 (木) 16：00～17：30
- ・場 所： 一般社団法人寒地港湾技術研究センター 会議室 札幌市北区
- ・テーマ： 「わくわくするみなとまちづくり」に向けて

○出席者

(※)みなとまちづくりマイスター

※	杉本 匡規	(網走港)	みなとオアシス網走運営協議会 代表
※	大西 育子	(苫小牧港)	北海道みなとまちづくり女性ネットワーク 会長
※	立野 了子	(室蘭港)	みなとまちづくり女性ネットワーク室蘭 代表
※	折谷 久美子	(函館港)	みなとまちづくり女性ネットワーク函館 代表
※	竹内 珠己	(紋別港)	みなとまちづくり女性ネットワーク・オホーツク 代表
	金子 ゆかり	(釧路港)	釧路港おもてなし倶楽部運営協議会 副実行委員長
	菅原 千鶴子	(留萌港)	留萌みなとまちづくり女性ネットワーク
	岩本 明子	(稚内港)	稚内のみなとを考える女性ネットワーク 代表
	笹島 隆彦	北海道開発局港湾空港部	部長
	中島 靖	〃	港湾計画課長
	早川 哲也	〃	港湾計画課港湾企画官
	早川 篤	〃	港湾計画課物流専門官
	熊野 寿	〃	港湾計画課開発専門職
	島谷 奈緒美	〃	港湾計画課
	中村 信之	NPO 法人北海道みなとの文化振興機構	理事長
	福岡 康宣	〃	事務局長
	毛利 照男	〃	事務局次長
	東 志郎	〃	事務局次長
	市来 隆	〃	事務局次長
	渡辺 修司	〃	事務局次長
	岸 哲也	〃	事務局次長
	松崎 重貫	〃	事務局次長
	橋間 元徳	一般社団法人ウォーターフロント協会	専務理事
	平尾 壽雄	一般社団法人ウォーターフロント協会	参与
	藤川 洋子	一般社団法人ウォーターフロント協会	総務課長

(2) みなとまちづくり研究会

1) 第16回研究会 「食とみなとまちづくり」大討論会－第4弾－

- ・日時：平成27年5月18日(月)15:00～17:00
- ・場所：ホテルアジュール竹芝 14階天平の間 東京都港区海岸
- ・基調講演 『第1回境港おさかなロード大漁祭』の報告
境港 元気みなと商店街 会長 山田 義彦 (みなとまちづくりマイスター)
- ・参加者全員による大討論会
コーディネーター 橋間 元徳 一般社団法人ウォーターフロント協会 専務理事

2) 第17回研究会

- ・日 時：平成27年9月18日(金)～19日(土)
- ・場 所：浄土ヶ浜パークホテル「鳳松」 岩手県宮古市日立浜町
 - ・「みなとオアシス全国協議会」総会 9月18日(金)15:30～16:00
 - ・みなとオアシスの集い 9月18日(金)16:00～18:00
- ・講 演：宮古港開港400年のあゆみ
講師 假屋 雄一郎 宮古市教育委員会 事務局 文化課 市史編さん室 主査
- ・意見交換会 みなとオアシス全国協議会理事登壇
コーディネーター 橋間 元徳 一般社団法人ウォーターフロント協会 専務理事
- ・現地視察 みやこ浄土ヶ浜遊覧船、岩手県立水産科学館 9月19日(土) 各自

3) 第18回研究会

- ・日 時：平成27年10月30日(金)～11月1日(土)
- ・場 所：鳥羽水族館 レクチャーホール 三重県鳥羽市鳥羽
 - ・伊勢神宮と海の幸
講師 櫻井 治男 皇學館大学文学部 特別教授
 - ・海を活かした地域づくり
講師 江崎 貴久 海島遊民くらぶ 代表
有限会社オズ 代表取締役(みなとまちづくりマイスター)
 - ・鳥羽水族館のご紹介
仲野 千里 鳥羽水族館 代表取締役兼館長
- ・現地視察 ミキモト真珠島 11月1日(土) 各自

(3) ウォーターフロント研究サロン

ウォーターフロント研究サロンとして毎月1回当協会事務所にて開催。知見ある講師による幅広いテーマでの講演及び討議を行った。

講演内容については、メールマガジン「WFニュース」で随時報告し、主要テーマについては「ウォーターフロント研究レポート」として発行した。

第75回 4月7日(火)

『ビーチ空間で培った、トップアスリートの勝負強さの秘訣～五輪をめざし、コートに立つまで～』 NPO 法人日本ビーチ文化振興協会 理事長 朝日 健太郎

第76回 5月13日(水)

『OECDの調査にみるみなとまちづくりの考え方』

元東洋大学国際地域学部 教授 金子 彰

第77回 6月11日(木)

『日本の国境警備』

新日鉄住金株式会社 顧問(元 海上保安庁次長) 城野 功

第78回 7月8日(水)

『鶴見臨港鉄道の過去・現在・未来』

東亜建設工業株式会社 執行役員 藤野 眞

第79回 8月19日(水)

『港湾クラスター概念とシステム工学』

海事コンサルタント 舘野 美久

第80回 9月8日(火)

『青函トンネルとボスポラス海峡トンネル』

VSL JAPAN 株式会社 営業本部 営業統括部長 梶 修

第81回 10月6日(火)

『和食文化と日本の農林水産物の海外展開』

前 農林水産省 大臣官房審議官 長谷部 正道

第82回 11月10日(火)

『みなとオアシス創世期』

鳥取大学 名誉教授 奥山 育英

第83回 12月3日(木)

『マジックについて』

国土交通省港湾局 海岸・防災課 災害査定官 西田 光昭

第84回 1月13日(水)

『ヨーロッパ北海沿岸のみなとまちを訪ねて』

一般財団法人みなと総合研究財団 理事長 鬼頭 平三

第85回 2月4日(木)

『戦没者の慰霊顕彰と千鳥ヶ淵戦没者墓苑』

公益財団法人千鳥ヶ淵 戦没者墓苑奉仕会 常務理事 古賀 英松

第86回 3月3日(木)

『ヨットの魅力と楽しみ方』

株式会社 I H I 顧問 塩崎 正孝

三井不動産(株) S&E 総合研究所 山本 淳一

(4) ウォーターフロント研究レポート、機関誌「ウォーターフロント開発」等の発行

1) 機関誌「ウォーターフロント開発」の発行

平成27年12月発行。会員及び関係各所に配布した。

2) ウォーターフロント研究レポートの発行

2015 Spring

vol.62 「海洋開発を巡る最近の動向」

横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター 特任教員(教授) 宮本 卓次郎

vol.63 「新潟の六斎市(定期市)」

国土技術政策総合研究所 管理調整部長 吉田 秀樹

- vol. 64 「南極大陸の非日常的な日常～南極の観測を支える縁の下の力持ち～」
飛島建設株式会社 東京支店 営業グループ担当部長 橋本 斉
- vol. 65 「ひたすら前を見て進むベトナム～2度の JICA 長期専門家を経験して～」
三菱商事 UBSリアルティ株式会社 常務執行役員 大津 光孝
- vol. 66 「居合道と私」
国土交通省居合道部（釜石市職員） 三浦 尚子
- vol. 67 「仕事人生を振り返って」－全ては「なにか変だ」と思うところから始まった－
元港湾局長（当協会顧問） 栢原 英郎
- vol. 68 「和を以て貴しと為す－高度消費社会におけるみなとまちづくりの経営理念－」
日本大学理工学部客員教授 新井 洋一
- vol. 69 「湊町新潟における博物館」（みなとの博物館ネットワーク・フォーラム 講演録）
新潟市歴史博物館 副館長 伊東 祐之

2015 Autumn

- vol. 70 「我々は阪神淡路大震災から何を学んだか ～震災から 20 年を迎えて～」
株式会社不動テトラ 専務執行役員 森川 雅行
- vol. 71 「地中海の海とクルーズ ～ローマとイスタンブールの港～」
横浜国立大学統合的海洋教育・研究センター 特任教員（教授）宮本 卓次郎
- vol. 72 「2014 年夏、－ 樺太・千島列島・カムチャツカ －
（邦船による）感謝・慰霊の北方クルーズ－」
ウォーターフロント協会 会員 野村 健司
- vol. 73 「ビーチ空間で培った、トップアスリートの勝負強さの秘訣
～五輪をめざし、コートに立つまで～」
NPO 法人日本ビーチ文化振興協会 理事長 朝日 健太郎
- vol. 74 「OECD の調査にみるみなとまちづくりの考え方」
元東洋大学国際地域学部教授 金子 彰

3) 「みなとオアシス 10 年」の発行

みなとオアシス制度創設から 10 年を経過したことから、これまでの関係資料をまとめ「みなとオアシス 10 年」として発行。各オアシス関係各所に配布した。

(5) 商品・企画・アイデアの紹介

豊かなウォーターフロント形成のため、以下の会員が有する商品・企画・アイデアを当協会ホームページで紹介している

○海洋建設株式会社 「JF シェルナース」

<http://www.waterfront.or.jp/entry/kaiyoukensetu.png>

○りんかい日産建設株式会社 「浚渫底泥高压脱水処理システム」

<http://www.waterfront.or.jp/entry/pfp.pdf>

○五洋建設株式会社 「閉鎖性水域浄化システムうみすまし」

<http://www.waterfront.or.jp/entry/umisumasi.pdf>

(6) クルーザーヨット「ユーホリアン」体験乗船

平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月までの体験乗船は延べ 105 名。

船の操船・メンテナンス等にボランティアクルー15名で対応。

・ボランティアクルー名簿

浦野 光央	江口 肇	鎌田 一郎	國松 靖	佐藤 孝夫
塩崎 正孝	武内 豊	橋間 元徳	橋本 光壽	福本 進
松田 賢	宮地 豊	山根 隆行	山本 淳一	吉田 昌兼

・特別企画「ユーホリアン」スローライフ&ハッピーアワー

日 時 平成 27 年 6 月 13 日 (土) 11:00～15:00

場 所 横浜ベイサイドマリーナ (横浜市金沢区白帆町1番地)

体験乗船者、ボランティアクルー及び関係者が船上での Stay を楽しむ

・「東京湾大感謝祭」プレジャーヨット無料体験クルージングに参加

日 時 平成 27 年 10 月 24 日 (土) ～25 日 (日)

場 所 横浜港象の鼻パーク

7 組 14 名参加 体験乗船者からは好評をいただいた。

※なお、10 月 25 日 (日) は強風のため中止となった。

(7) メールマガジン

○WF ニュース

メールニュースとして月 1 回 20 日頃配信。

平成 28 年 3 月までに第 308 号を配信。

○みなとまちづくり通信

平成 20 年海の日に創刊号を配信。毎月 1 回 10 日頃配信。

平成 28 年 3 月までに No. 123 を配信。

○みなとオアシス便り

平成 21 年海の日に創刊号を配信。毎月 1 回 30 日頃に配信。

平成 28 年 3 月までに VOL. 77 を配信。

○みなとの博物館情報

平成 22 年 10 月に創刊号を配信。毎月 1 回 15 日頃に配信。

平成 28 年 3 月までに VOL. 67 を配信。

4. ウォーターフロント調査研究事業

(1) ウォーターフロント研究開発事業（公益目的事業）

1) 海外のウォーターフロント開発事例に関する情報収集

平成 27 年度は、海外事例として、アメリカ西海岸のワシントン州ベリンハム港のウォーターフロント開発について情報を収集し、機関誌「ウォーターフロント開発 NO. 33」にて報告を行った。

2) 平成 27 年度ウォーターフロント開発状況海外調査

この調査は、一般財団法人みなと総合研究財団と建設コンサルタンツ協会を中心とした調査に、当協会の鬼頭顧問が副団長として参加した。

目 的：欧州北海沿岸諸都市の地域振興への取組み状況等の把握

日 程：平成 27 年 5 月 31 日～6 月 10 日の 11 日間

訪問地：フランス、ベルギー、オランダ、ドイツ

資 料：当協会機関誌「ウォーターフロント開発 NO.33」に報告を掲載。

(2) ウォーターフロント開発調査事業（収益目的事業）

1) 受託調査

次の 3 件を受託した。

①件 名：中部地域のみなとオアシス活用方策検討業務

発注者：国土交通省中部地方整備局

②件 名：那覇港振興方策について

発注者：株式会社レキオコンサルタント

③件 名：『みなとオアシス』の概要整理と期待される役割検討

発注者：一般財団法人みなと総合研究財団

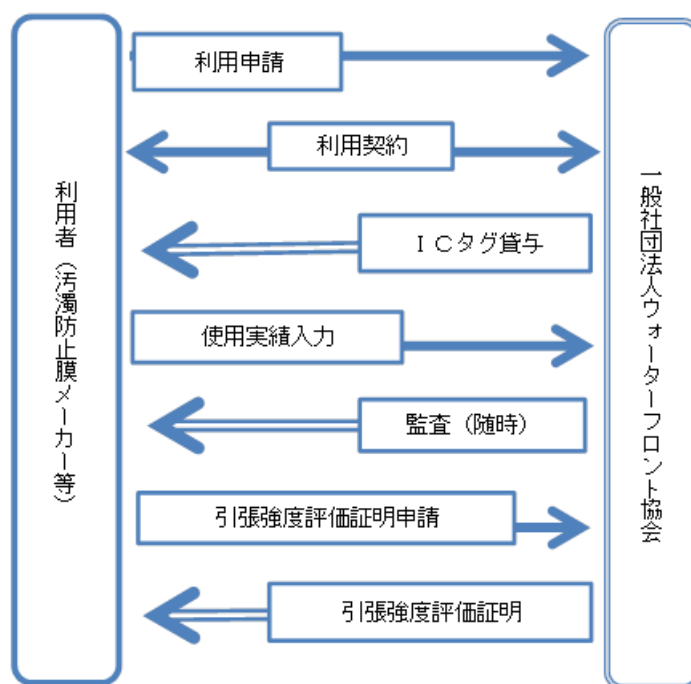
5. 汚濁防止膜再利用カーテン引張強度評価制度の運用事業（収益目的事業）

汚濁防止膜は、港湾工事等において汚濁が発生する場合、その拡散を防ぎ、環境を保全するものとして広く活用されてきた。そして近年、建設リサイクル推進の観点から、汚濁防止膜カーテンについては、再利用品を使うことが多くなってきた。

当協会においては、一般財団法人港湾空港総合技術センター（SCOPE）より発行された「汚濁防止膜技術資料（案）」をもとに、この度、新しく「汚濁防止膜再利用カーテン引張強度評価制度」を創設し、運用することとした。

なお、制度の周知を図るため、4 月～6 月にかけて各地方整備局等において制度の説明会を開催した。今年度は 7 社と契約し 9 件の評価証明書を発行した。

汚濁防止膜再利用カーテン引張強度評価制度
運用フロー図



<管理運営委員会>

- ・日 時：平成 28 年 3 月 24 日（木）14：00～16：00
- ・場 所：ホテルアジュール竹芝 東京都港区海岸

<管理運営委員会委員名簿>

新井 洋一	NPO 法人リサイクルソリューション 会長
出口 一郎	大阪大学 名誉教授
平石 哲也	京都大学防災研究所 教授
長尾 毅	神戸大学都市安全研究センター 教授
宮田 正史	国土交通省 国土技術政策総合研究所 港湾施設研究室長
寺内 潔	一般社団法人日本埋立浚渫協会 第一調査研究部長
梅沢 信敏	一般財団法人港湾空港総合技術センター 研究主幹
藤田 亨	国土交通省 港湾局 技術企画課 課長補佐
引屋敷 英人	国土交通省 港湾局 技術企画課 建設企画室 施工基準係長
真山 丈夫	国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部 港湾整備・補償課長
高橋 宏彰	東京都港湾局 港湾整備部 技術管理課長

付属明細について

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する附属明細書の事業報告の内容を補足する重要な事項は存在しないので、作成しない。